

## 会社四季報活用術その3 「ネットキャッシュ」を計算し、もしもの場合の 安全度をチェック



### ネットキャッシュとは？

[前回の銘柄フォーカス](#)では、会社四季報を使って業績のトレンドをチェックする方法、そして「有価証券報告書」を使ってより長期の数値を取得する方法をご紹介しました。

本日のレポートでは、リーマン・ショックのような経済危機が起きたり、不祥事が起きて会社の業績が一時的に悪化したりするなど「もしもの事態」が起きた際にも、手元資金が豊富で会社の資金繰りが行き詰まる可能性が低い銘柄を会社四季報を使って見極める方法をご紹介します。

その方法とは、企業の「ネットキャッシュ」を確認することです。ネットキャッシュとは「現金同等物」から「有利子負債」を差し引いたものを示します。簡単に言うと、「企業の持っている現金またはそれに類するものから、借金を差し引いたもの」がネットキャッシュで、このネットキャッシュがプラスだということは「実質無借金企業」と言い換えることができます。

私たちの身近な例で考えると、同じ30万円の給料をもらっているAさんとBさんでも、Aさんは100万円の貯金・Bさんは100万円の借金があったとすると、急に景気が悪くなり失業して給料がもらえなくなった際にはAさんの方が安心度が高い、そんな風に考えるとわかりやすいと思います。会社四季報を活用すればいとも簡単に企業のネットキャッシュを確認することができます。

### 会社四季報を活用してネットキャッシュを確認する方法

それではいよいよ具体的に会社四季報を使って企業のネットキャッシュを確認する方法をみていきましょう。上述したとおり、ネットキャッシュとは「現金同等物」から「有利子負債」を差し引いたものを差します。まずは「現金同等物」の確認方法をみていきましょう。

マネックス証券に掲載されている会社四季報では、「基礎/財務情報」「業績/株主構成」「資本異動/役員等」という3つのサブメニューに分かれています。現金同等物は「業績/株主構成」の中に記載されています。下記の図はサンリオ(8136)の「業績/株主構成」のページです。

## 【8136】(株)サンリオ

[基礎/財務情報](#)[業績/株主構成](#)[資本異動/役員等](#)

(中略)

【キャッシュフロー】億円	
営業CF	144 (174)
投資CF	-78 (-86)
財務CF	-119 (-54)
現金等	376 (416)

(出所) 会社四季報 (マネックス証券のウェブサイト)

図を見ていただくと、キャッシュフローという欄に「現金等」という項目があります。まさにこれが現金同等物を示しています。サンリオの場合は 376 億円 (カッコ内の 416 億円は前期の数字) ということになります。

では続いて「有利子負債」を確認しましょう。今度は「基礎/財務情報」というサブメニューに移ります。一番下までスクロールさせると、以下の項目が表示されます。

【財務】<連15.12> 百万円	
総資産	108,771
自己資本	57,422
自己資本比率	52.8%
資本金	10,000
利益剰余金	54,240
有利子負債	19,024

(出所) 会社四季報 (マネックス証券のウェブサイト)

今度は財務という欄に「有利子負債」という項目があります。これがサンリオの有利子負債を示しており、その金額は約 190 億円です。(サンリオの場合「現金等」の欄は単位が億円、「有利子負債」の欄は単位が百万円と異なっているのでご注意ください。)

これで「現金同等物」と「有利子負債」を取得することができました。サンリオの場合は、現金同等物が 376 億円、有利子負債が 190 億円ですので、差し引きすると約 186 億円現金同等物の方

が多いこととなります。サンリオは仮にすぐさま有利子負債を全て返済したとしても現金同等物が186億円残るとのことです。このように、会社四季報を活用すれば簡単にネットキャッシュを算出することができます。ぜひ投資をご検討されている銘柄のネットキャッシュをチェックしてみてください。

次回のレポートでは、ネットキャッシュがプラスである銘柄を抽出し、条件を加えてご紹介したいと思います。また、本レポートで記載した内容は[こちらのセミナー](#)でもお伝えしておりますので、ぜひそちらもご参照ください。

**ご留意いただきたい事項**

マネックス証券(以下当社)は、本レポートの内容につきその正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想および判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。当社が有価証券の価格の上昇又は下落について断定的判断を提供することはありません。

本レポートに掲載される内容は、コメント執筆時における筆者の見解・予測であり、当社の意見や予測をあらわすものではありません。また、提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。

当画面でご案内している内容は、当社でお取扱している商品・サービス等に関連する場合がありますが、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的として作成したものではありません。

当社は本レポートの内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。

本レポートの内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。

当社でお取引いただく際は、所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。お取引いただく各商品等には価格の変動・金利の変動・為替の変動等により、投資元本を割り込み、損失が生じるおそれがあります。また、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込み、損失が生じるおそれがあります。信用取引、先物・オプション取引、外国為替証拠金取引をご利用いただく場合は、所定の保証金・証拠金をあらかじめいただく場合がございます。これらの取引には差し入れた保証金・証拠金(当初元本)を上回る損失が生じるおそれがあります。

なお、各商品毎の手数料等およびリスクなどの重要事項については、「[リスク・手数料などの重要事項に関する説明](#)」をよくお読みいただき、銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身のご判断で行ってください。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号

加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会